

活動計画と感謝の祈り（第六、七段階）

「活動計画」の実施状況に関する報告（第六段階・1）

これまで実施してきた班集会の内容と同じもの

前回の集会で決めていた「活動計画」の実施状況について、計画通り、あるいは計画通りに運ばなかったという報告をし、必要に応じて、どうしてそうなったかについて皆で話し合う。また、小教区司牧評議会からの連絡事項も行う。

今後の活動についての話し合い（第六段階・2）

上記の活動報告などが済んだら、これからどんな活動をしたらよいかについての分かち合いへ

何をその日の分かち合いのテーマにするかは、進行係（または班長さん）が前もって準備していたものも含めて、参加者全員の合意によって決める。それぞれのテーマについての分かち合いの結論は全員の合意に基づいて出されたものとする。

さまざまな会合での活用

会合を「み言葉の分かち合い」で始め根気強く続ければ、メンバー一人ひとりの個人的な霊性も高まり、その日の議案についても福音の精神に基づいて話し合えるようになる。

「み言葉の分かち合い」、第四段階の「沈黙の時間」が終わったら、普段の会合通りに進め、会合の終わる時間はきちんと守るように努力する。

感謝の祈り（第七段階）

「み言葉の分かち合い」は、祈りで始まり、祈りで締めくくる。

その日の集いはキリストを中心にして行われたものだったことを思い起こすため、できるだけ全員が感謝の祈りをし、その後、全員で「主よ、私たちの祈りを聞いてください」と唱え、聖歌や「主の祈り」、「アヴェ・マリアの祈り」などで集いを締めくくる。